定期監査の概要

1　定期監査（財務監査・行政監査）の概要

(1) 対象所属

４６所属

(2) 監査対象年度　　令和５年度

(3) 定期監査の視点及び行政監査の項目

地方自治法第１９９条第１項、第２項及び第４項に規定された定期監査（財務監査・行政監査）について、同法第１９８条の３第１項に規定する四日市市監査基準に基づき、市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資するため監査を実施した。

監査等にあたっては、事務･事業の合規性や正確性の視点はもとより、経済性、効率性、有効性の視点に加えて、事務・事業におけるリスクの存在と、それに対して内部統制が適切に整備・運用されているかを監査の着眼点とした。

また、定期監査（財務監査）に並行して行う行政監査として、行政運営が公正で効率的かつ効果的に行われているかを主眼として、次の項目について監査を実施した。

①　時間外勤務等の状況
②　業務執行上懸案となっている事項
③　内部事務における管理・牽制体制の構築状況
④　前回の定期監査の指摘事項及び意見についての対応

(4) 監査の結果

部局名	所属	勧告	指摘	意見	評価	監査ｻｲｸﾙ	
						3年	6年
危機管理統括部	1	０件	４件	１４件	０件	○	
政策推進部	4	０件	１件	５１件	０件	○	
議会事務局	1	０件	１件	９件	１件	○	
商工農水部	4	０件	２件	４９件	０件	○	
農業委員会事務局	1	０件	２件	７件	０件	○	
会計管理課	1	０件	１件	６件	１件	○	
上下水道局	9	０件	０件	５６件	１件	○	
健康福祉部	１１	０件	９件	８８件	１件	○	
地区市民センター	4	０件	１件	１４件	４件		○
保育園･幼稚園･こども園	4	０件	１件	１６件	１件		○
小学校・中学校	6	０件	１件	２５件	３件		○
合　計	４６	０件	２３件	３３５件	１２件		

①　**勧告**：法令、条例、規則に違反しているもので、市の行財政運営や市民生活に重大な影響を及ぼすもの　など

② **指摘**：経済性、効率性、有効性の観点や住民福祉の向上のため、直ちに改善を要するものやその他適正を欠く事項で是正する必要があると認められるもの　など

③ **意見**：改善方法の検討などを促し、又は注意する必要があると認められるものや監査委員が特に要望する必要があると認められるもの　など

④ **評価**：評価すると意見があった取り組み

⑤ **注意事項**：事務処理の誤りなど、速やかな是正を口頭にて注意したもの

件数は多く適正な事務の確保のため、内部統制を有効なものとする必要がある。

●注意事項（件数）

	収入事務	現金等管理	支出事務	契約事務	公有財産管理	物品備品管理	公印管理	文書管理	人事管理（時間外勤務）	その他	計
危機管理統括部			3	3	1	1		2	1		11
政策推進部			6	7		1		1	3		18
議会事務局		1	2	1				1	1		6
商工農水部	1	3	8	3	1	3	1	4	4		28
農業委員会事務局			1				1	2	1		5
会計管理課									1		1
上下水道局			2	6	1		2	23	9		43
健康福祉部		4	14	7	3	2	4	18	19		71
地区市民センター				2				1	2		5
保育園･幼稚園･こども園			7			1		2	2		12
小学校・中学校			2		3	5	4	6	1		21
合　計	1	8	45	29	9	13	12	60	44		221

２　監査の着眼点

(1) 想定されるリスクからの着眼点

監査等の対象に係るリスクが及ぼす影響の重要度の評価を踏まえて設定する。

この重要度の評価を行う場合においては、「リスクの発生可能性の程度」と「リスクが発現した場合の被害又は影響の程度」の２つの指標から行い、いずれの指標も高いものを影響の重要度が高いリスクとする。

(2) ３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点

監査等の対象の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的（より少ない費用で実施すること）、効率的（同じ費用でより大きな成果を得ること）かつ効果的（所期の目的を達成していること、また、効果を挙げていること）に行われているか、住民の福祉の増進に寄与しているか等の視点から設定する。

３　監査の結果

危機管理統括部　危機管理課　　（詳細はP28～32）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

②　公有財産や備品の管理が適切に行われないリスク**【意見】**

指　摘

所属で所管する公有財産・備品について、１年間における具体的な確認数量や、全体を対象とする確認の完了目標などを明確にした実査計画を作成し、確実に実査を進めること。

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

①　事務処理誤りの再発防止について

事務処理誤りの件数が多く、過去の監査から同様の傾向が見受けられる。根拠法令を確認するなど十分に検証を行い、再発防止策を確立すること。

②　補助制度の変更について

地区防災組織活動補助金制度の変更は、全市的に影響も大きいことから、変更の根拠について説明責任を果たすとともに効果的な活用に資するよう努めること。

意　見

①　内部事務管理について
②　災害を意識した人員配置について
③　グループ制導入の効果について
④　業務継続計画（ＢＣＰ）の有効性について
⑤　能登半島地震における本市職員派遣結果の検証について
⑥　災害対策における設備・システムの整備について
⑦　事前防災の統括について
⑧　災害防止策の協議の場設置について
⑨　大規模災害時の混乱回避について
⑩　ＡＲ防災学習アプリの利用促進について
⑪　委託業務の履行確認について

政策推進部　政策推進課　　（詳細はP34～38）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

特に、１０月の時間外勤務が１００時間を超える職員が２年連続で生じており、こうした状況が令和６年度以降も継続することのないよう取り組むこと。

② 職員配置におけるリスク

③ 四日市市土地開発公社から引き継いだ土地の管理に関するリスク **【意見】**

④ 負担金の支出におけるリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 内部事務管理について

② 四日市地区広域市町村圏協議会について

③ 大学構想について

④ 行政評価について

⑤ 四日市市総合教育会議について

⑥ 職員による政策提案について

⑦ 総合計画について

⑧ 中核市への移行について

政策推進部　広報マーケティング課　（詳細はP39～43）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**

② 個人情報管理におけるリスク

③ 契約締結及び支出が適正に行われないリスク **【意見】**

④ パブリックコメント手続が適正に行われないリスク **【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 内部事務管理について

② 政策推進部とシティプロモーション部との役割分担の発信について

③ 効果的な市のＰＲについて

④ ふるさと納税について

⑤ 市政記者クラブの設置場所について

政策推進部　秘書国際課　（詳細はP44～47）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
② 国際交流に関する職員配置のリスク

２ ３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

① 内部事務管理について
② 四日市市国際交流基金について
③ 天津国際温泉高尔夫倶楽部保証金について
④ 国際交流の推進について
⑤ 報償費の執行について

政策推進部 東京事務所 （詳細はP48～52）

１ 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
② 職員配置におけるリスク
③ 職員宿舎に置かれている備品の管理上のリスク**【意見】**

２ ３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

① 内部事務管理について
② 首都圏における本市の広報事業の効果について
③ 事業実施に当たっての意思決定過程について
④ シティプロモーション事業の精査について
⑤ 東京に事務所を設置していることの効果検証について
⑥ 職員の特性を活かした事業遂行について
⑦ 若者にとって有用な活動の場の提供について
⑧ 首都圏の学生に対する働きかけについて
⑨ 本市に事業所を有する企業への働きかけについて
⑩ 県内外の自治体との連携等について
⑪ 地方分権の推進について
⑫ 情報発信及びその数値目標について
⑬ 派遣職員の連携について

議会事務局 議事課 （詳細はP54～58）

１ 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
② 金券等管理におけるリスク**【意見】**
③ 政務活動費の適正な交付におけるリスク**【意見】**

２ ３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

市議会図書室の規程に沿った運営管理について

図書室は四日市市議会図書室規程に基づき運営管理することとされているが、図書の貸出しの手続きや貸出期間、図書の整理などについて、規程と実態が大きく乖離してお

り、規程に沿った運営管理を行うこと。規程の内容が実際の運用になじまず必要性に乏しいものであれば、規程そのものの見直しを検討すること。

意　見

① 内部事務管理について
② 市議会図書室の活発な利用について
③ ＤＸの取り組みについて
④ テレビ放送中継等事業業務委託について
⑤ ラウンジの利用について

評　価

市議会議員が利用するラウンジの棚に、新しく整備された図書を見やすく陳列し、図書内容についてのコメントを付してＰＲされている。これは効果的な発信方法であるので、引き続き取り組まれたい。

商工農水部　商業労政課　（詳細はP60～64）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
② 補助金が有効に活用されないリスク**【意見】**
③ 指定管理業務におけるリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 内部事務管理について
② 雇用の促進について
③ 空き店舗等の活用支援について
④ ペーパーレス化など発信方法の効率化について
⑤ 国とのパイプの強化について
⑥ イルミネーション事業について
⑦ 地場産業振興センターについて
⑧ 重要物品について

商工農水部　工業振興課　（詳細はP65～69）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
② 職員配置におけるリスク**【意見】**
③ 公有財産の管理に関するリスク
④ 補助金・負担金の支出におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 四日市臨海部産業活性化促進協議会について
② 中小企業振興基金について
③ 業務委託の適正実施について
④ 地場産業振興の取り組みについて

⑤　カーボンニュートラルの推進について
⑥　市内の工業高校等との連携について
⑦　主要事業の目標設定について

商工農水部　農水振興課　　（詳細はP70～75）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
②　農業委員会事務局との事務分担に係るリスク
③　食肉センター・食肉地方卸売市場の老朽化に係るリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

①　使用料の徴収について
　農業センターの使用については四日市市農業センター条例で規定されており、使用料は特別の理由があると認めたとき以外は前納しなければならないと規定されている。しかし、納入通知書が使用後の納期限で発行されている事例が複数見受けられた。内部統制を強化し、不備のない適切な事務処理を行うこと。
②　工作物の取得報告について
　令和４年７月に取得した防犯カメラについて、管財課への市有財産取得報告書の提出が令和６年１月になされていた。公有財産を取得したら速やかに管財課へ報告を行うこと。

意　見

①　内部事務管理について
②　補助金交付決定の決裁について
③　原課契約工事について
④　地域計画の策定について
⑤　収益性の高い農業への展開について
⑥　農業センターの新たな取り組みについて
⑦　６次産業化の推進について
⑧　農薬を使用しない農作物の生産推進について
⑨　アグリビジネスの推進について
⑩　有害鳥獣被害対策について
⑪　水産業における人材・資源の確保について
⑫　水産資源の確保について
⑬　補助事業の見直しについて
⑭　食肉センター、農業センターとの連携について

商工農水部　けいりん事業課　　（詳細はP76～80）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**
②　備品管理におけるリスク**【意見】**
③　事業の継続におけるリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について

②　施設整備について

③　競輪事業関連団体との連携について

農業委員会事務局　　（詳細はP81～84）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　農水振興課との事務分担に係るリスク

③　農地転用許可等が適正に行われないリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

①　農業委員会総会議事録の署名漏れについて

　農業委員会総会の議事録で署名がないものが見受けられた（四日市市農業委員会規則で、２人以上の委員が署名しなければならないと規定)。今後の対策として、議事録署名の重要性を改めて共通認識し、総会準備から開催・日付記載・署名までを一連の流れとして位置づけ、規則に基づく内部統制を徹底すること。

②　公印管理について

　農業委員会事務局長の公印が、農業委員会の公印を定める四日市市農業委員会規程に規定されていなかった。速やかに規程を整備し、公印管理を徹底すること。

意　見

①　内部事務管理について

②　地域計画の策定について

③　農業の担い手育成について

④　農業委員と農地利用最適化推進委員の連携について

会計管理課　　（詳細はP88～91）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指　摘

　厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、課内異動を含めた職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。職員の健康のため、人員配置を強く要望し､過労死等労災認定基準を上回る職員が生じる状況は避けること。

②　業務に係るノウハウの継承におけるリスク

③　内部統制事務におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　金融機関及び関係機関との連携について

②　手数料の抑制にかかる取り組みについて

③　ＤＸ化に向けた体制づくりについて

④　職員用机・椅子の管理について

⑤　三重県都市会計管理者協議会の負担金について

評　価

適正な業務執行について

　共通事務などにおいて概ね適正な処理ができている点は評価できる。引き続き内部統制やチェック機能を働かせ、他部署の模範となるよう高い意識を持って業務にあたってもらいたい。

上下水道局　管理部（総務課・経営企画課・お客様センター・生活排水課）　（詳細はP93～102）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　適切な業務継承に関するリスク

③　適正な債権回収の実施におけるリスク

④　固定資産の管理におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について【総務課】【経営企画課】【お客様センター】

②　規程改定手続きについて【総務課】

③　職員の時間外勤務の削減について【総務課】

④　技術職の確保の取り組みについて【総務課】

⑤　泗水の里でのＰＲについて【総務課】

⑥　ハラスメント対策について【総務課】

⑦　被災地への派遣職員の経験の活用について【総務課】

⑧　水道事業の安定的な継続について【経営企画課】

⑨　雨水排水対策について【経営企画課】

⑩　債権管理体制の充実のための職員のスキルアップについて【お客様センター】

⑪　量水器の検針業務について【お客様センター】

⑫　行政区域外給水について【お客様センター】

⑬　四日市市公共下水道接続指導要綱の適切な運用について【生活排水課】

上下水道局　技術部（施設課・水道建設課・水道維持課・下水建設課・下水維持課）

（詳細はP103～110）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　適切な業務継承に関するリスク

評　価

　水道部門で導入しているスキルリストの取り組みについては、技術職の人材育成とい

う観点からも評価に値する。今後、他部門への横展開も視野に入れ、有効に活用することが望まれる。

③　適切な入札事務の執行におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について【各課共通】

②　安全な水道水の供給について【施設課】

③　施設の維持管理包括的民間委託について【施設課】

④　所管する固定資産の実査について【施設課】

⑤　管路の更新について【水道建設課】

⑥　漏水率の低下について【水道維持課】

⑦　デジタル技術の導入について【下水建設課】

⑧　管路包括維持管理業務委託について【下水維持課】

市民生活部　地区市民センター　　（詳細はP112～117）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員配置におけるリスク

②　現金の管理におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

人事管理について【大矢知地区市民センター】

会計年度任用職員の年次有給休暇については、１日単位または時間単位で取得できることとなっている。しかし、誤って１５分単位で取得されており、結果的に取得できる上限を超えて、年次有給休暇を取得していた事例が見受けられた。年次有給休暇の適正な取得について、改めて会計年度任用職員に周知するとともに、所属長は人事課から提供される資料を参照して制度への理解を深めるなど､適正な人事管理の徹底を図ること。

意　見

【共通事項】

①　業務の継承について

②　地域における取り組みについて

③　地域活動の担い手の確保について

④　館長権限予算について

⑤　副館長会議の活用について

⑥　マイナンバーカード手続きなどにかかるコピー対応の統一について

⑦　図書室の活用について

⑧　耐震対策について

⑨　清掃管理について

【河原田地区市民センター】【大矢知地区市民センター】【保々地区市民センター】

⑩　内部事務管理について

【河原田地区市民センター】

⑪　施設利用率の向上について

⑫　タブレット端末の管理について

評　価

【河原田地区市民センター】【県地区市民センター】

情報提供の工夫について

掲示物が多い中で、掲示物の期間管理やパンフレットスタンドへのみだし添付など、必要な情報が見つけやすいよう取り組まれている点が評価できる。

【河原田地区市民センター】

利用しやすい環境づくりについて

図書室内のプレイコーナーやソファの設置など、気軽に利用できる環境づくりがされていて評価できる。

【県地区市民センター】

①　適正な業務執行について

共通事務などにおいて概ね適正な処理ができている点は評価できる。引き続き内部統制やチェック機能を働かせ、他館の模範となるよう高い意識をもって業務にあたってもらいたい。

②　タブレットの活用について

配備されたタブレットが窓口ですぐに使用できるよう、カウンター付近に常備して活用している点が評価できる。

こども未来部　保育園・幼稚園・こども園　　（詳細はP119～125）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

①　出先機関のリスク**【意見】**

②　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

③　施設の補修が速やかに行われないリスク**【意見】**

④　多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク**【意見】**

⑤　経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク**【意見】**

【保育園・こども園共通事項】

⑥　複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

消耗品の発注について【大矢知幼稚園】

消耗品の購入において、数回に分けて発注している事例が見受けられた。四日市市事務専決規程では１０万円以上の物品の発注は調達契約課の専決事項となっている。ルールに則り、疑念や誤解を招くような契約は慎むこと。

意　見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

①　内部事務管理について

②　現金の取扱いについて

【保育園・幼稚園・こども園・保育幼稚園課】

③　幼児教育センターの活用について

【幼稚園共通事項】
④　効果的な情報発信について
【大矢知保育園・大矢知幼稚園】
⑤　耐震対策について
【大矢知保育園】
⑥　子育て支援センターについて
【保育幼稚園課】
⑦　園移転の情報発信について

評　価

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

インスタグラムの活用について

全園（保育園・幼稚園・こども園）において、インスタグラムを活用して園の情報や行事等の様子を発信している。また、地域行事へ参加し、地域との交流状況を効果的に発信している園もある。インスタグラムの情報を通じて園の活動に参加したり、入園につながっている事例もあるとのことであり、若い保護者にとって、馴染みのあるＳＮＳを通じた情報発信が有効であると考えられる。今後も各園において、効果的かつタイムリーな情報発信に努められたい。

教育委員会　小学校・中学校　　（詳細はP127～133）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【小・中学校共通事項】
①　教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

指　摘【河原田小学校、大池中学校、保々中学校】

教職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認を行うこと。加えて、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めるとともに、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を図ること。

②　理科薬品の適正な管理におけるリスク**【意見】**

【中学校共通事項】
③　教員の部活動における業務負担に関するリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

【小・中学校共通事項】
①　内部事務管理について
②　市費による教員配置の効果について
③　特別支援を要する児童・生徒への対応について
④　学校内におけるいじめ、不登校等への対応について
⑤　教育におけるデジタル活用について
⑥　ガス給湯器の活用について
⑦　個人情報管理について

⑧　新規採用職員のフォローアップについて
⑨　耐震対策について
⑩　学校ホームページの活用など情報発信について
⑪　民間プールを活用した水泳授業の委託について
⑫　外部侵入者の防止について
⑬　薬物濫用防止教室について
⑭　熱中症対策における配慮について

【中学校共通事項】
⑮　地域との連携について

【河原田小学校】
⑯　内部事務管理について

評　価

【中学校共通事項】
自動採点システムの活用について
令和６年度から導入された自動採点システムを多くの教科で幅広く活用しており、業務の効率化及び教員の負担軽減につながっている。小学校においても、教育委員会により、活用しやすい環境の整備中とのことであり、こういった積極的な取り組み姿勢は評価できる。

【大矢知興譲小学校】
①　デジタル活用技能を有する教員の育成について
ＩＣＴ推進校となっていた時代から、チェックリストを作成してＩＣＴ教員の育成に取り組んでおり、この手法を他の学校にも共有したとのことである。こういった効果的な取り組みを情報共有することで、市内の学校全体のレベルアップに寄与し、教員の異動によるデジタル活用の停滞防止につながると考えられ、評価できる。引き続き積極的に共有されたい。
②　校内の環境整備について
理科準備室の棚について、高いところには紐を張ることで落下防止の対策がされており、ガラス戸棚や体育倉庫には物が収納された状態の写真を貼ることで収納場所や収納の仕方がわかるようにされていた。また、理科室の出入口に使用管理簿があり、中から持ち出したものを記録、管理されていた。これらの取り組みは、校内の整備に寄与するもので評価できる。

健康福祉部　福祉総務課　（詳細はP135～140）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等に

よる業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

② 個人情報管理におけるリスク

③ 公有財産の管理が適正に行われないリスク

④ 補助金が有効に活用されないリスク**【意見】**

⑤ 適正な債権回収の実施におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

内部事務管理について

内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図り、主管課として範を示せるような事務を行うこと。

消耗品を分割発注し原課契約しているが、疑念を持たれる発注方法は厳に慎むこと。

また所属長は、決裁権者や出納員としての自らの責任をあらためて認識し適正に決裁を行うこと。

意　見

① 民生委員・児童委員の担い手の確保について

② 社会福祉法人の監査について

③ 重層的支援体制整備事業について

④ 社会福祉協議会との連携強化について

健康福祉部　保護課　（詳細はP141～145）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

② 職員配置におけるリスク

③ 現金の管理におけるリスク**【意見】**

④ 勤務上における職員の身体的リスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

内部事務管理について

ア　内部事務の基本的な部分で、多くの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して内部事務管理の徹底を図り、事務処理誤りの払拭に強く取り組むこと。

併せて、新たに異動してきた職員の視点によるチェックや、誤った事務処理内容とその改善点等についての所属内での情報共有などの取り組みによって事務処理誤りの防止を図り、所属としての事務執行の適正性の確保に努めること。

また所属長は、決裁権者や出納員としての自らの責任をあらためて認識し、事務誤りのない適正な事務執行となるよう、決裁時の確認を行うこと。

イ　会計年度任用職員の年次有給休暇について、誤った処理が複数見受けられた。年次有給休暇の適正な取得について改めて周知するとともに、所属長は人事課から提供される資料を参照して制度への理解を深めるなど、適正な人事管理の徹底を図ること。

意　見

①　生活保護の実施体制の整備について

②　適切な相談対応について

③　民間団体との連携について

④　保護費の返還にかかる滞納整理について

健康福祉部　高齢福祉課　　（詳細はP146～150）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行い、特定の職員に負担が集中しないよう業務の平準化に取り組むこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

②　職員配置におけるリスク

③　介護予防の啓発にかかるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について

②　介護予防等拠点施設開設の効果について

③　認知症発症予防の取り組みについて

④　高齢者や認知症の人の相互交流の推進について

⑤　老人クラブへの加入促進について

⑥　福祉有償運送の支援について

健康福祉部　介護保険課　　（詳細はP151～154）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員配置におけるリスク

② 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 内部事務管理について
② 地域介護の充実について
③ 債権管理の効率化について
④ 要介護認定及び要支援認定にかかる日数について
⑤ 介護保険料の金額設定について

健康福祉部　障害福祉課　（詳細はP155～160）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ特定の職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行うとともに、管理職も含めた働き方改革の取り組みを進めること。また、既に導入しているＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）などのデジタル技術について、他市で効果のあった事例を調査し、それらを参考にして更なる活用を図るなど、業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

② 職員配置におけるリスク
③ 公有財産の管理に関するリスク【意見】

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

① 内部事務管理について
② 指定管理者制度の適正な活用について
③ 障害者就労支援事業について
④ 民間団体との連携について
⑤ タクシー料金助成事業について
⑥ グループホームの活用について
⑦ 重度障害者手当について

⑧　市民に寄り添った対応について
⑨　他部局との連携について

健康福祉部　保険年金課　（詳細はP161～165）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

指　摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間３６０時間を超える職員が見受けられた。係や職員による時間外勤務時間数のかたよりも見られることから、所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、デジタル技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組み、過労死等認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

②　個人情報管理におけるリスク
③　保険料の現金取扱いのリスク**【意見】**
④　保険料の滞納のリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について
②　収納率向上の取り組みについて
③　ハラスメント対策について
④　マイナ保険証の普及活動について

評　価

受電業務及び催告業務の外部委託について

令和４年度から架電業務と催告業務の外部委託を開始し、令和６年度からは、社会情勢の変化や現金事故リスク、費用対効果の面で課題を抱えていた納付指導員制度（訪宅による現金徴収等）を廃止して、さらに受電業務も外部委託に加えた。口座振替を推進するなどの事前準備の上で実施し、納付状況も向上しているとのことであり、手法の見直しにより成果を上げていることは評価できる。今後も収納率向上に注力することを期待する。

健康福祉部　健康づくり課　（詳細はP166～170）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
②　職員配置におけるリスク
③　健康増進のための事業の効果にかかるリスク**【意見】**
④　健康ボランティアの担い手不足に係るリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

報償費の支出について

健康相談事業を保健師・看護師等に委嘱し報償費を支出しているが、２人の支払い対象者について、それぞれに支払うべき金額を誤ってもう一方の対象者に支払っている事例が見受けられた。報償費については、源泉徴収等付随業務も多いため、内部統制を強化し、正確な事務処理を徹底すること。

意　見

①　内部事務管理について

②　不用額について

③　がん検診の受診率向上について

④　コロナウイルスワクチンの副反応への対応について

⑤　体育用器具の管理について

健康福祉部　保健企画課　　（詳細はP171～175）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　職員配置におけるリスク

③　組織・機構の見直しにおけるリスク**【意見】**

④　医療の安全の確保におけるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について

②　評価指標の設定について

③　専門職の人材確保と保健所の機能強化について

④　在宅医療・介護連携の推進について

健康福祉部　保健予防課　　（詳細はP176～179）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　職員配置におけるリスク**【意見】**

③　勤務上における職員の身体的リスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について

②　新たな感染症発生時の対応について

③　自殺予防対策の効果的な実施について

④　精神障害施策における民間団体との連携について

⑤　感染症対策に関する啓発について

健康福祉部　衛生指導課　　（詳細はP180～183）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク**【意見】**

②　専門的業務に対する内部統制上のリスク

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指　摘

人事管理について

会計年度任用職員の年次有給休暇については、１日単位または時間単位で取得できることとなっているが、誤って１５分単位で取得していた事例が見受けられた。年次有給休暇の適正な取得について、改めて会計年度任用職員に周知するとともに、所属長は人事課から提供される資料を参照して制度への理解を深めるなど、適正な人事管理の徹底を図ること。

意　見

①　内部事務管理について

②　専門職の人材確保と育成について

③　動物と共生できる社会の実現について

④　薬物乱用防止の啓発について

⑤　委託料の積算について

健康福祉部　食品衛生検査所　　（詳細はP184～187）

１　想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

①　職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

②　職員配置におけるリスク**【意見】**

③　検査の正確性にかかるリスク**【意見】**

２　３Ｅ（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意　見

①　内部事務管理について

②　組織運営について